

直近の世論調査から－2019. 11. 11(改造後の不祥事・失言。10%増税の賛否)

1、安倍内閣の支持率は50.5%(前月比▼1.2%減)…相次ぐ不祥事と失言。「緩み」指摘

内閣支持率		
10月	支持	不支持
日経10.28	57	36
毎日10.20	40	30
読売10.21	55	34
朝日10.22	45	32
共同10.28	54.1	34.5
時事10.18	44.2	33.0
JNN10.6	54.9	42.4
ANN10.20	45.4	33.6
FNN10.22	51.1	33.0
平均	50.5	34.3
9月平均	51.7	31.8
前月比	-1.2	2.5

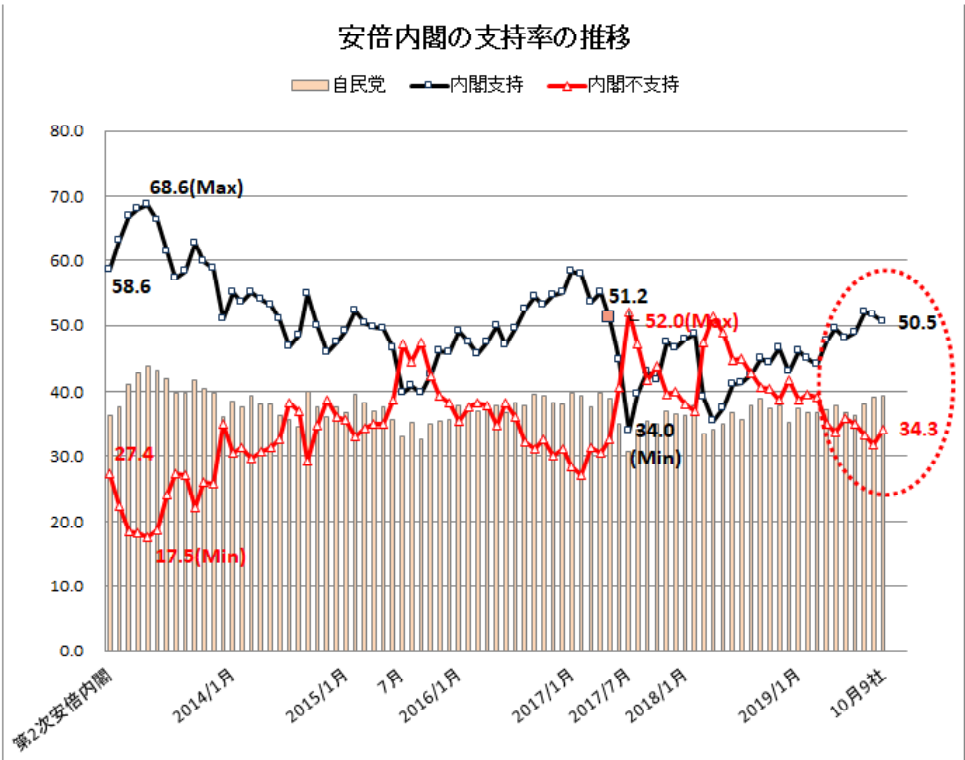
天皇即位に伴う恩赦について		
	賛成・評価	反対
4社平均	26.2	55.8

菅原経産相の閣僚辞任は		
	当然だ	必要なかった
共同10.28	75.0	17.8

菅原経産相は議員辞職すべきか		
	辞職すべき	必要ない
共同10.28	48.3	43.5

菅原問題－安倍政権に緩みがあると		
	あると思う	思わない
日経10.28	56	36

20年間の自民・公明連立の評価		
	評価している	していない
FNN10.22	34.2	47.9



① 10月の調査では、珍しくNHKが未実施となったが、これによる若干の誤差は無視してレポートする。10月は消費税10%に増税が実施となり、第200回臨時国会が開幕(12月9日までの67日間)になったが、とりわけに天皇行事(一連の政治ショー)が目白押しだ。1

次の首相は誰に？

- JNN10.6 ①石破 20 ②安倍 18
- ③小泉 13 ④河野/菅 8 ⑤岸田 6
- ⑦茂木 2 ⑧加藤 1
- 共同10.6 ①安倍 16.9 ②石破 15.0
- ③小泉 14.7
- 時事10.18 ①小泉 18.8 ②石破 15.8
- ③安倍 10.3 ④菅 8.0 ⑤岸田 7.5
- ⑥河野 5.7 ⑦茂木 1.7
- 日経10.28 ①小泉 20 ②石破 18
- ③安倍 16 ④河野 8 ⑤菅 6
- ⑥岸田 4 ⑦枝野 3 ⑧茂木/小淵1
- 安倍首相に期待する政策は
- 日経10.28 ①社会保障の充実 46
- ②景気回復 38 ③外交安全保障 32
- ④財政再建 27 ⑤教育の充実 25
- ⑥政治・行政改革 14 ⑦憲法改正 11

日の剣璽等承継の儀と即位後朝見の儀、4日の一般参加。一番のハイライトは22日「即位礼正殿の儀」で、191の国と国際機関などの代表が参列した。11月には大嘗祭(14日)が行われ、一部の情報では「その後衆議院解散・総選挙へ」という話もささやかかれていたが、菅原経産相辞任(25日)、河井法相辞任(31日)の閣僚辞任や、相次ぐ不祥事・失言一萩生田文科相の英語民間試験をめぐる「身の丈」発言。河野防衛相の「私は雨男。就任後台風が三つ」との発言などで、このスケジュールは難しくなったようだ。

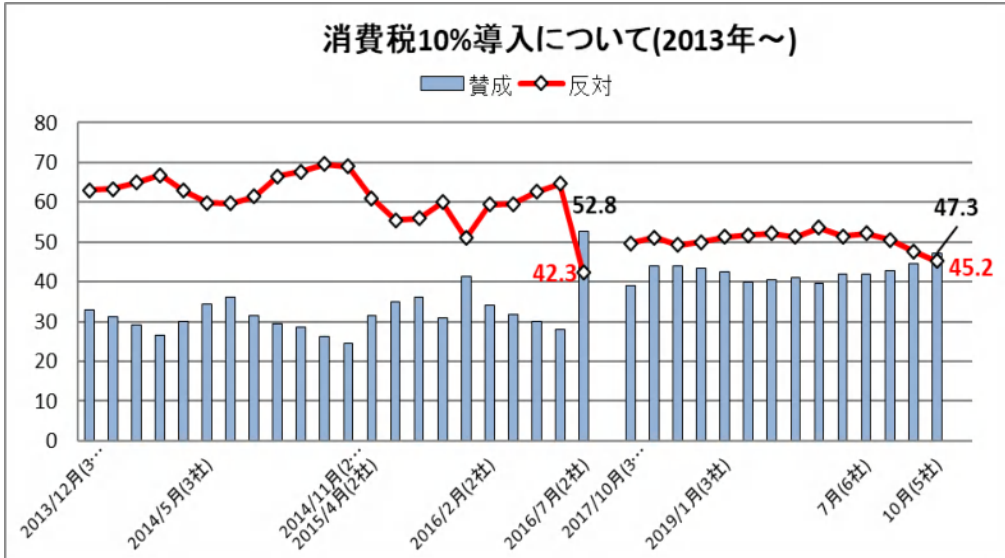
次期首相レースにも参画しはじめた「令和おじさん」菅官房長官にも逆風が吹き始めた(辞任した菅原・河井大臣や陰りを見せ始めた小泉環境相は菅氏の仲介とされる)。

②おまけに10月実施の消費増税実施も加えても、今のところはまだ安倍内閣の支持率には大きな影響は出ていない様子で、10月末での支持率は50.5%(前月比▼1.2%減)、不支持は34.3%(+2.5%)だった。2012年12月に発足した第2

次安倍政権は、これまでの閣僚の辞任は河井法相で10人目。「長期政権に緩みが出ている」との評価に「あると思う」が56%(日経)。20年間の「自民・公明の連立に対する評価」は肯定的34.2%・否定的47.9%というものが出ている(FNN)。

いずれにせよ安倍首相の通算在職日数は今年11月20日には日本の憲政史上、最長の桂太郎政権(明治・大正期に3度組閣。2886日)を抜くことになるそうだ。でも、そんな“歴史的な政府”であったような記憶が残らないのはどうしたことだろうか？

2. 消費税10%…10月導入後は既成事実化が進み「賛成47.3% > 反対45.2%」に逆転。



③ 2013年12月から調査してきた左図「消費税10%導入について」に顕著な変化が見られたのも今月の特徴だ。2014年4月安倍政権化で8%とされた消費税は、当初15年10月に税率10%への引き上げ予定を2017年4月に1年半延期。さらにその直

前の2016年参院選で2019年10月まで再延期されたことはご承知の通り。この参院選時に「再延期」表明した際に、一時的に「消費税10%に賛成」(実質的に止むなし)が52.8%、反対42.3%と逆転したのだが、今回はそれ以来初めて「10%増税賛成(止むなし)」が47.3%、反対45.2%と、わずかな差だが、ふたたび「賛成が反対を上回った」のだ。

今年10月に消費税10%にUP

10月に消費税10%増税したが

7月	賛成	反対	8月	賛成	反対	9月	賛成	反対	賛成・納得	反対	
読売7.6	43	51	FNN8.6	41.2	54.1	JNN9.9	39	52	共同10.6	43.4	49.4
JNN7.8	42	50	JNN8.5	41	52	日経9.13	52	42	JNN10.6	51	41
共同7.13tr2	40.8	54.3	ANN8.20	39	53	ANN9.16	44	48	読売10.21	48	43
朝日7.15	42	52	共同8.20	43.3	51.3	朝日9.17	46	46	朝日10.22	54	40
ANN7.15	43	50	読売8.26	44	49	毎日9.16	41	50	FNN10.22	39.9	52.8
FNN7.16	40.6	55.3	日経9.2	49	44	平均	44.4	47.6	平均	47.3	45.2
平均	41.9	52.1	平均	42.9	50.6	※黄色セル相対多数値					

左表を見て分かるように、7月は6社調査の全てが反対は優位だったが、8月と9月は日経調

査が賛成優位に転じ、10月増税実施後は3/5社が賛成・納得派となった。既成事実が積み上がった以上「しょうがない」という声が増えたのだろう。

④増税に当たっては増税前後の「駆け込み需要や買い控え」が心配されていたが、「駆け

増税後の買い物は(控えてる・支出減)

	控えている	してない
4社平均	21.9	75.2

増税前に駆け込み買い物を

	した	しなかった
FNN10.22	21.4	78.4

増税にともなう負担を感じているか

	感じている	いない
読売10.21	59	40

	重くなってる	なってはいない
朝日10.22	45	52

外食の際に8%と10%の違いを意識?

	意識する	意識しない
毎日10.28	28	62

これからの消費税率をどうするか

朝日10.22	①10%のまま 47
	②10%より上げる 12 ③8%に下げる 14
	④5%に下げる 11 ⑤消費税廃止 11

消費税増税後の日本経済先行きに

	不安を感じる	感じない
共同10.6	70.9	28.7
朝日10.22	61	37
共同10.28	69.7	30.6
平均	67.2	32.1

消費税増税による景気悪化を

	心配してる	してはいない
FNN10.22	52.2	43.0

軽減税率制度を評価するか

	評価する	評価しない
朝日10.22	58	33

軽減税率制度は複雑だと思うか

	そう思う	思わない
共同10.28	81.3	

軽減税率制度を理解してるか

	理解してる	してない
JNN10.6	59	40

軽減税率で税負担が軽くなると

	感じる	感じない
ANN10.20	13	73

軽減税率制度で買い物の困惑・混乱

	経験した	しなかった
FNN10.22	13.2	85.7

ポイント還元についての評価

	評価する	評価しない
ANN10.20	33	51

込み」が21.4%(FNN)、「買い控え」は21.9%(4社平均)と目立った変化は見られず、政府のポイント還元や軽減税率導入などの緩和措置が効いている様子だ。ただし軽減税率制度に対する評価は、一応は「評価する」が58%、「評価しない」33%と(朝日)、肯定的な評価の方が多いが、「複雑だ」81.3%(共同)、「買い物の困惑・混乱」85.7%(FNN)など、消費

	思う	思わない
共同10.6	37.5	61.2

	意識している	していない
FNN10.22	42.4	56.3

者に困惑・わかりにくさを与えていることは否めず、ポイント還元についても「評価する」33%に対して、「評価しない」51%となっている(ANN)。

	増やしている	していない
読売10.21	28	70
日経10.28	22	75
平均	25.0	72.5

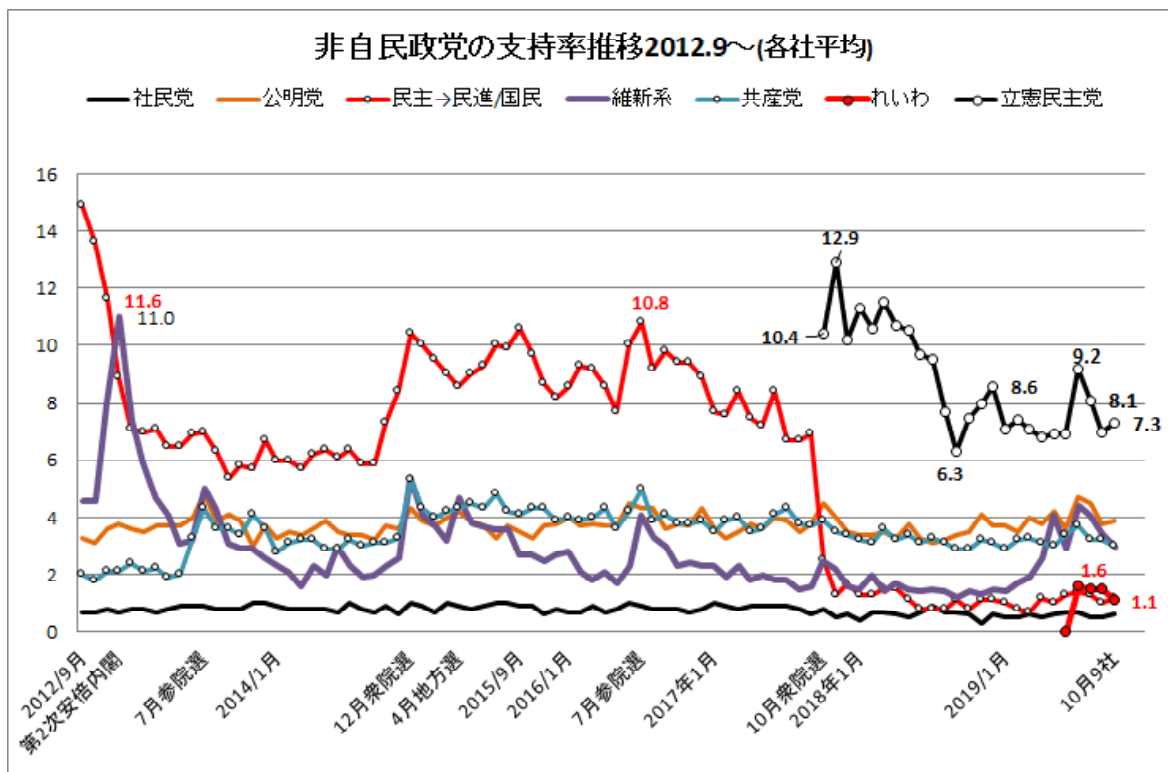
毎日10.28 ①以前からキャッシュレスを利用している 35 ②還元制度をきっかけに利用開始 7 ③検討している 13 ④利用するつもりはない 35

キャッシュレス決済についても、今のところ、余り評判が良いとは言えないようだ。

肝心の「増税後の日本経済の先行き」に対する不安は67.2%が「感じている」と応えており(3社平均)、景気悪化を「心配している」のは52.2%(FNN)という数値が出ている。

3. 野党支持率…立憲7.3%(前月比+0.2%)、れいわ1.1%(▼0.4%減)、N国0.7%

⑤政党支持率でも、今回は余り大きな変化は見られなかった。立憲民主党はわずかだが支持を伸ばして7.3%になったが、れいわ新撰組は▼0.4%減の1.1%、N国は0.7%と「予想外の健闘」?だ(巷間はもっと下がるとの見込みが多かったが…)。



政党支持率

10月	自民	立憲	国民	公明	共産	社民	維新	れいわ	N国	支持なし
日経10.28	46	7		5	4		4	1	1	29
毎日10.28	36	10	1	3	3	1	4	1	1	34
読売10.21	42	5	1	3	3	0	2	1	0	38
朝日10.22	35	6	1	5	2	0	2	1	1	39
共同10.28	44.6	8.5	1.3	4.2	3.6	1.1	3.6	2.1	0.8	28.9
時事10.18	27.5	5.8	0.6	3.9	1.8	0.1	1.2	0.6	0.2	56.0
NHK										
JNN10.6	40.1	8.1	1.8	3.5	2.9	0.4	3.1	1.0	0.2	34.2
ANN10.20	45.6	7.8	1.8	4.3	4.3	1.3	2.9	0.6	0.3	30.0
FNN10.22	37.7	7.3	1.3	3.3	2.1	0.5	4.3	1.5	1.4	39.4
平均	39.4	7.3	1.2	3.9	3.0	0.6	3.0	1.1	0.7	36.5
9月平均	39.1	7.0	1.0	3.8	3.2	0.5	3.4	1.5	0.6	35.5
前月比	0.3	0.2	0.2	0.1	-0.2	0.0	-0.4	-0.4	0.1	1.0

閣僚辞任などの影響が内閣支持率にどう出てくるか。11月の世論動向が気になるが、「天皇行事がひと区切りついて」以降の解散総選挙を狙っているとされる安倍政局に対抗して、野党共闘は「錦旗は立っているが隊列はバラバラ」といった状態だ。先の「消費税」設問にあった「これからの消費税をどうするか」との朝日の調査では、「10%のまま」が47%で最大。次いで「8%に下げる」14%、「5%に下げる」11%、「消費税廃止」11%。「8%以下・5%以下・廃止」の3回答を合わせても36%なのだ。

れいわの山本太郎代表は「消費税 5%での野党共闘」を唱え、これに共産党が同調し、立憲や国民、社民の若手からも共鳴する動きが見られるが、この「5%共闘」が野党や国民を結集させるスローガンとなり得るのか。朝日の調査では悲観的とならざるを得ないデータなのだが、どう政治的に調整・判断されていくのか見守っていききたい。

4. その他…天皇諸行事、関西電力、台風災害対応など、五輪・競歩札幌変更など

安倍内閣の改造(党人事)について

	評価する	評価しない
JNN10.6	33	38

小泉環境大臣の仕事ぶり

	評価する	評価しない
JNN10.6	42	24

小泉大臣の気候変動、セクシー発言

	適切だった	不適切
JNN10.6	25	39

環境大臣就任の小泉進次郎イメージ

朝日10.22	①良くなった	11
	②悪くなった	16
	③変わらない	67

愛知トリエンナーレへの交付金不払い

	適切だった	不適切
3社平均	44.1	34.4

同展作品は展示されるべきアートだと

	思う	思わない
FNN10.22	23.9	64.0

天皇即位に伴う恩赦について

	賛成・評価	反対
4社平均	26.2	55.8

恩赦制度を今後も続けることに

	賛成	反対
読売10.21	28	49

今の皇室に親しみを持っているか

	持っている	持っていない
3社平均	54.7	32.7

祝賀パレードを延期したことを

	評価する	評価しない
朝日10.22	83	10

女性天皇を認めるについて

	賛成	反対
共同10.28	81.9	13.5

女系天皇を認めるについて

	賛成	反対
共同10.28	70.0	21.9

天皇陛下に対してどのような感じを?

毎日10.28	①おそれ多い	3
	②尊い	14
	③親しみ	25
	④好感	26
	⑤反発・反感	1
	⑥特に感じない	9
	⑦関心がない	6
	⑧その他	3

安倍首相の下での憲法改正

	賛成	反対
共同10.6	37.3	48.4

今後、国会で憲法改正論議の活発化に

	肯定的	否定的
2社平均	63.5	28.0

日韓関係の改善に譲歩が必要か

	譲歩は不要	必要
日経10.28	69	19

日韓関係の連携を強めるべきか

	強めるべき	必要ない
毎日10.28	46	36

中東地域への自衛隊派遣について

	賛成	反対
FNN10.22	41.6	45.1

米国主導の有志連合に不参加方針

	支持する	支持しない
FNN10.22	52.0	39.2

日米合意の貿易協定についての評価

	評価する	評価しない
時事10.18	29.3	30.9

どちらもとも 39.8

北朝鮮の動向、不安感

	不安ある	ない
JNN10.6	80	17

日朝首脳会談の条件つけず開催は

	納得できる	できない
JNN10.6	37	47

関西電力役員の説明に納得するか

	納得する	納得しない
ANN10.20	8	81

関西電力幹部の国会招致は

	必要ある	必要ない
2社平均	72.0	18.0

原発問題で原発事業に対する信頼は

	信頼揺らいだ	揺らいでない
毎日10.28	58	23

台風15号の政府初動対応は

	問題あった	なかった
JNN10.6	56	28

台風19号被災地支援の政府対応は

	評価する	評価しない
2社平均	51.4	40.8

一連の台風災害に対する政府対応は

	評価する	評価しない
朝日10.22	37	39

今後のダム・堤防などの整備に力を

	入れるべき	そう思わない
2社平均	84.5	10.0

一連の災害での自衛隊の活動評価

	評価している	していない
FNN10.22	88.0	9.3

気象庁の対応は命を守る行動に

	つながる	つながらない
ANN10.20	84	8

市町村の避難情報の確認方法は

ANN10.20	①テレビ・ラジオ	38
	②インターネット	27
	③防災無線	14

④周辺住民の情報交換 12

⑤考えたことがない 5

地球温暖化による影響で特に不安は

毎日10.28	①真夏の猛暑	17
	②大雨など異常気象	44
	③水や食料の不足	9

④海水面上昇 10

⑤動物や植物の絶滅 5

日ごろから災害対策の準備を

	準備してる	していない
毎日10.28	54	36

五輪マラソン・競歩の札幌へ変更

	賛成	反対
3社平均	43.0	40.0

五輪マラソン・競歩の望ましい開催地

	札幌開催	東京開催
FNN10.22	48.9	41.6

マラソン・競歩以外も気温の低い地域を

	検討すべき	必要ない
FNN10.22	38.0	53.9

☆これまでの「直近の世論調査から」シリーズ、各種選挙結果とデータなどをホームページに掲載しています。自由にご利用ください。

<http://yoronmeeting2013.web.fc2.com/>

(北海道世論調査会まとめ)